（3）　第17号　（第三種郵便物認可）

五万人までは給水充分

三要素（水量・水圧）備えた理想的上水道

上水道の拡張は政府から約九千万円借金して、五ヵ年継続工事中のところ、蒸水機設の水増し、ポンプの増設、水供給設置の整備などを完了する上水道の三要素・水量・水圧・水質）を備えた県内で、二の立派な近代水道となり、給水人口約五万人まで拡張され、水が強くでき、飲料水殺菌の心配はなくなり、金く断水の心配はなくなった。

本市上水道が水源で取水され、浄水場から市民の口に入るまでの経路を説明するとつぎのとおりである。

河賀郡川裏流水→取水口→揚水→排水管→送水管→浄水場→市民

取水・揚水・排水管は全部十三㌔式でないので、取水・揚水・排水管は全部十三㌔の電動機ポンプに頼っての電動機ポンプ一すの降雨でも送配水管に影響する。管降雨北電力受電送水管→鉄道橋→鉄道橋高圧配電→送水ポンプ→送水管→鉄道山配水池→給水管→鉄道橋→需要者となる。

本市水源は地崎水道のように山からの自然流下式でなく、ポンプの運転がとまると断水になるので、浄水場ポンプ一つは屋夜二名つづ三交代で休祭日の別なく動務し、同時に塩素滅菌機の操作に当っている。このほかに水質検査員は河水の濁度、アルカリ度を十分間毎に測り、沈澱剤（硫酸バンド・ソーダ）の注入量を調べられ、水の砂ごしが困難に陥ったときは沈砂機により水砂するなど不断の注意に当っている。

工事はかどる高速沈澱池

国保助成九百四十三万円

算定法變更で昨年比百四十五万円減

昭和二十九年度国民健康保険事業補助金の交付額は未確定していないが、大体の交付見込額と昨年度分が定されている。この内訳は事務費補助金二百三十二万円医療費補助金七百十一万円で昨年度の交付額に比べると約百四十五万円の減少となっている。しかしまだこの外に特殊事情による働率の変化が残されているので、この分を加して大体五万円程度の交付が見込まれている。

なお、昨年度から又廃止後国保助成金総額の補助は、交付基準が大市に補正される模様なのでその推算ではない。

工業統計調査

12月末日現在

通産省では本年末を基準として全国的な工業統計調査を行う。

昭和二十九年十二月末現在で工業統計調査を行う。

この調査は全国の製造工場について従業者数、原材料の使用額、生産額、製造工業の面から見た工業の経済活動の実態を明かにしてもらう。

工場について従業者数、原材料の使用額、生産額、製造工業の面から見た工業の経済活動の実態を明かにしてもらう。

この調査は全国の製造